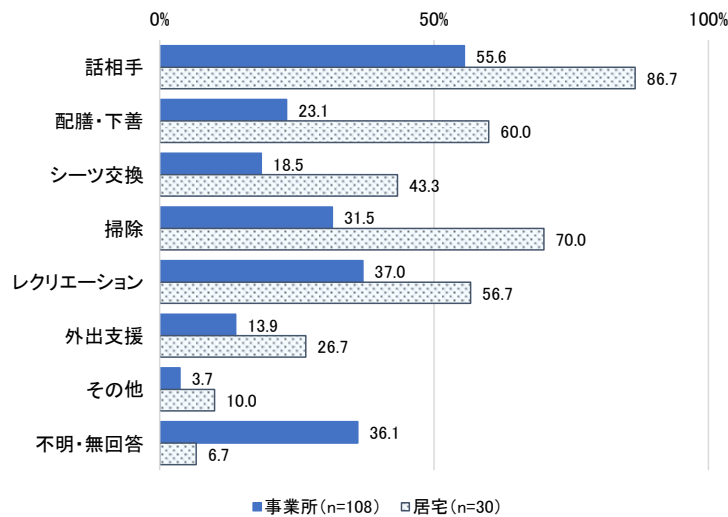


●地域住民が担うことができるもの

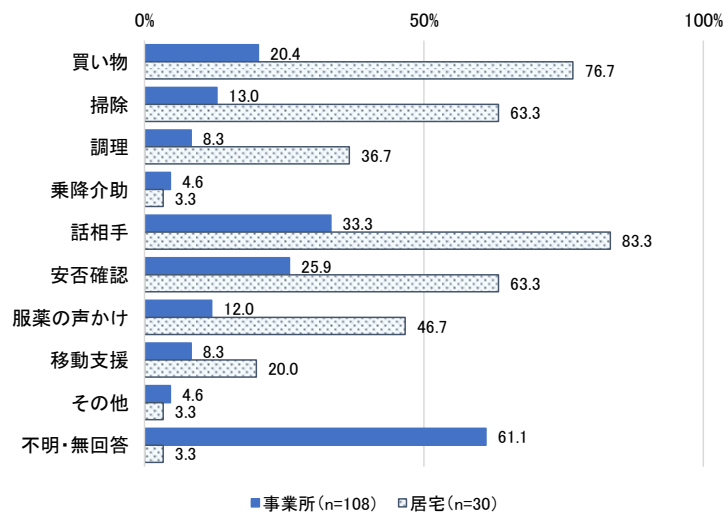
地域住民が担うことができるものでは、サービス事業所の通所系・入所系において「話相手」が55.6%で最も多く、「レクリエーション」で37.0%が続いています。訪問系においても「話し相手」が33.3%で最も多く、「安否確認」が25.9%が続いています。

他方、居宅介護支援事業所の通所系・入所系において、「話相手」が86.7%で最も多く、「掃除」が70.0%が続いています。訪問系においては「話相手」が83.3%で最も多く、「買い物」が76.7%が続いており、事業所と居宅介護支援事業所では若干地域住民が担うことについての捉え方が異なることがうかがえます。

業務の性質上地域住民が担うことができるもの
通所系・入所系

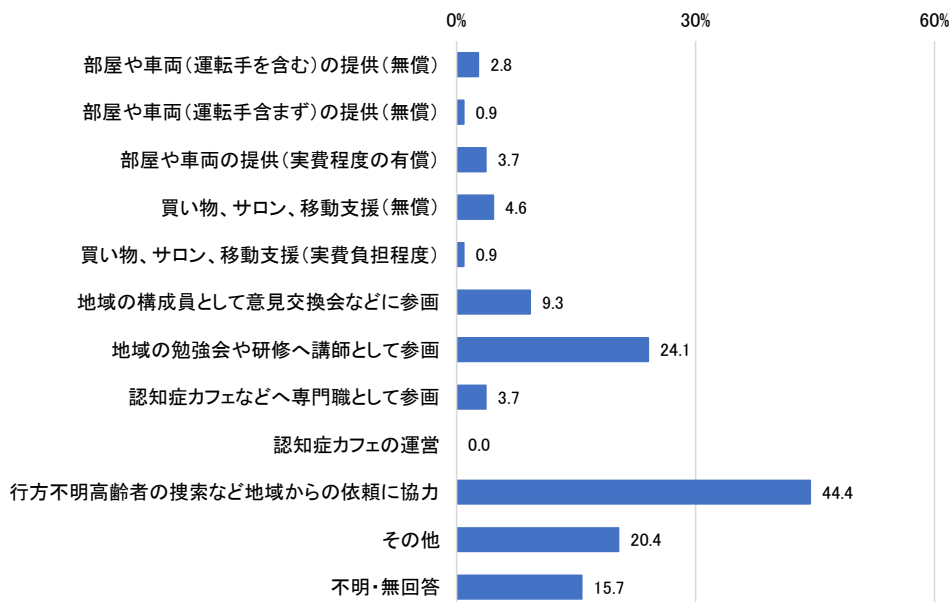


訪問系



地域の支え合い活動との連携や協力で、既に行っていることについて(サービス事業所のみの設
問)、「地域の勉強会や研修へ講師として参画」が最も多くなっています。

地域の支え合い活動との連携や協力で、既に行っていること



事業所:n=108

地域の支えあい活動との連携や協力で、今後出来そうなことについて、サービス事業所では
「地域の構成員として意見交換会などへ職員参画」が42.6%、居宅介護支援事業所では「行方
不明高齢者捜索など地域からの依頼に協力」、「介護や健康に関する相談」が73.3%で最も多
くなっています。

地域の支えあい活動との連携や協力で、今後出来そうなこと

